



公益財団法人滋賀県文化財保護協会  
設立 50 周年

# 整理室へようこそ!!

こう こ が く

お う み れ き し

# 考古学でよみとく近江の歴史

## 整理室では…

整理室では、発掘調査で見つかったモノの“資料化”を行っています。モノが見つかった場所をモノに書いたり（注記）、土の中でバラバラになった土器を元の形に戻したり（接合・復元）、測って図にしたり（実測）、できた図をデジタル化したりして（製図）、『発掘調査報告書』を作っています。

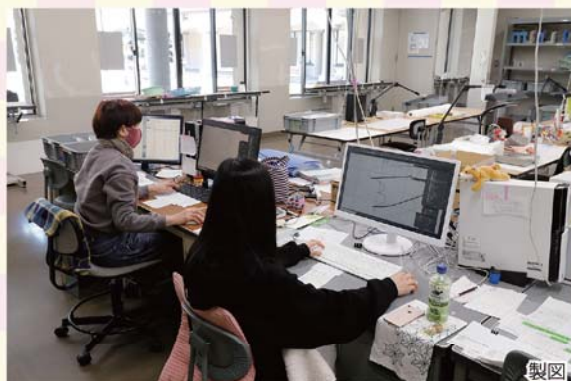
スタッフたちの熟練のワザを、ぜひ間近でご覧ください。



注記



実測



製図



発掘調査報告書

まめのぶくん



©mana

公益財団法人滋賀県文化財保護協会の

最新情報

Youtube



どきっち

しがぶんちゃん

# の 飲 め や 騒 げ や の 大 騒 ぎ ! ?

## か ま く ら う た げ あ と り っ と う は ち や — 鎌倉時代の宴の跡・栗東市蜂屋遺跡 —

### 1. 蜂屋遺跡の発掘調査

蜂屋遺跡は、栗東市蜂屋にある縄文時代（約 3,500～約 3,000 年前）から江戸時代（約 420～約 150 年前）にかけての集落遺跡です。平成 28 年度から令和元年度にかけて行った発掘調査で、古墳時代（約 1,800～約 1,500 年前）の竪穴建物跡や奈良時代（約 1,310～約 1,230 年前）の掘立柱建物跡などがたくさん見つかりました。



### 2. 古代のお寺があった！（飛鳥時代）

飛鳥時代後半（約 1,350 年前）の瓦が大量に見つかりました。その中でも軒先を飾る瓦は奈良県の法隆寺と同じ模様（法隆寺式）が使われていて、法隆寺との強いつながりが想定されます。



出土した法隆寺式の軒丸瓦（上）と軒平瓦（下）  
この瓦は元々使っていた人々の違いで、それぞれ少し模様が違います。



大量の瓦

### 3. 地域の有力者の屋敷跡！？（鎌倉時代）

現在の蜂屋の集落の近くを調査したときに、溝で区画された屋敷跡と考えられる遺構が見つかりました。また、4 間×7 間（柱の数が南北 5 本×東西 8 本）の大きな掘立柱建物跡も見つかりました。鎌倉時代（約 800 年前）の屋敷、特に武士や押領使（治安維持に当たる役人）の屋敷は、敵に備えて周囲を堀と塀で囲まれていました。この屋敷跡はそういった人々が居住していたのかもしれませんが。



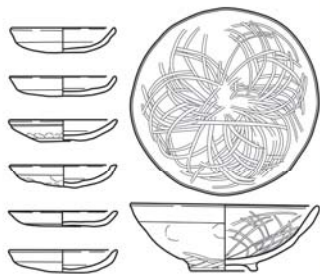
溝で区画された屋敷跡



大きな掘立柱建物の跡

## 4. 宴会の後のごみ捨てを…（鎌倉時代）

鎌倉時代頃のお茶わんやお皿が大量に捨てられていた場所がありました。一度きりしか使われていないような、完全な形のものはいくつも出土していたり、調理器具がほとんど見つからなかったことから、宴会をしたあとにいらなくなった大量の食器を捨てたものと考えられます。この近くには宇和宮神社（717年にできたと伝わる）という神社があり、この神社のお祭りの宴会かもしれません。



大量のお茶わんやお皿

## 5. 現在につながる人々の暮らし（室町時代～江戸時代）

つづく室町時代（約680～450年前）にも現在の蜂屋集落の近くで生活していた跡が見つかります。

また、室町時代後期の大きな溝跡が見つかり、これは蜂屋氏という地元の有力者の城の溝と考えられます。

しかし江戸時代になると現在と同じ場所に農業用水路や井戸がつくられ、水田化が進んでいったようです。



室町時代の大きな溝跡

### 自由研究のテーマに…鎌倉時代にかかわる史跡

近江国（滋賀県）は昔から東海道・東山道（江戸時代には中山道）・北陸道が通過していて、都と東国をつなぐ重要な場所でした。大河ドラマで今話題の平安時代末期～鎌倉時代にも、いろいろな場所が歴史の表舞台に登場します。訪れて、当時をイメージしてみたいかたがででしょうか。

瀬田唐橋（大津市唐橋町）発掘調査で橋脚の基礎が見つかり、7世紀中～末期頃につくられたと考えられます。古くは壬申の乱（672年）で近江朝廷軍と大海人皇子軍の戦いが起きています。

平安末期の1184年に源義仲軍と源範頼・義経軍が争い、敗れた義仲は粟津（現在の津市晴嵐付近）で討たれてしまいます。承久の乱（1221年）・建武の乱（1336年）でも戦いがありました。

義仲寺（大津市馬場）源義仲の墓所近くに巴御前が小屋を作り、供養をしたことに始まると伝わります。源義仲、巴御前のほか、「奥の細道」で有名な松尾芭蕉が眠っています。

沙沙貴神社（近江八幡市安土町常楽寺）佐々木氏発祥の地として、近江源氏佐々木氏、また、子孫の六角・京極・朽木各氏をはじめ多くの人々の崇敬を集めています。源頼朝が挙兵した時、『吾妻鏡』に「源家が平家を征する最初の矢」と記される矢を放った佐々木経高もこの一族です。

徳源院（米原市清滝）近江源氏佐々木氏の子孫で、鎌倉時代中期以降に湖北を治めた京極氏の先祖代々の墓があります。鎌倉時代～江戸時代後期の京極氏歴代の宝篋印塔が並ぶ姿は圧巻です。

## ◇整理作業中の遺跡紹介◇

### 矢倉川遺跡（米原市）

矢倉川遺跡は縄文時代～平安時代の遺物散布地です。令和元・2年度に行った調査では、遺構は見つからなかったものの、縄文土器や弥生土器・石器・木器などが見つかっています。

### 佐和山城跡（彦根市）

佐和山城跡は室町時代～安土桃山時代の城館跡です。平成30年度から行っている調査では、安土桃山時代の城下町のメインストリートや橋台遺構などが見つかっています。

### 出庭遺跡（栗東市）

出庭遺跡は古墳時代～近代の集落遺跡です。平成30年度から行っている調査では、古墳時代の竪穴建物跡や鍛冶工房跡・玉造工房跡などが見つかっています。

### 手原遺跡（栗東市）

手原遺跡は古墳時代～江戸時代の集落・お寺・役所跡です。令和3年度調査では、古代の掘立柱建物跡や平安時代後期～鎌倉時代の掘立柱建物跡などが見つかっています。

### 高野遺跡（栗東市）

高野遺跡は縄文時代と古墳時代～近代の集落遺跡です。平成30年度から行っている調査では、古墳時代の竪穴建物跡や平安時代初頭に使われていた古代東海道跡などが見つかっています。



現地説明会資料はこちら

佐和山城跡 出庭遺跡 (辻遺跡) 高野遺跡



## 会場案内図

- ① 佐和山城跡・矢倉川遺跡コーナー
- ② 蜂屋遺跡コーナー
- ③ 高野遺跡コーナー
- ④ 出庭遺跡・手原遺跡コーナー

- A 実測作業
- B 接合・復元作業
- C 注記作業

